

ロジックツリー〔記入要領〕

◆共通事項

- ・前年度のフォローアップから変更した箇所は赤字記載すること。（当該年度追記分と、目標等の変更箇所）「アウトプット」欄の平成30年度から令和2年度 of 取組に係る記載についてはこの限りでない。

◆「将来構想」欄について

1. 機関としてのビジョン実現に向けた、本事業における構想（研究力強化方針・戦略など）について記載すること。
2. 構想（研究力強化の方針・戦略など）全体としての評価指標を設定している場合には、指標を記載（詳細については、「◆「事業終了までのアウトカム（2021-2022）」欄について」を参照）すること。なお、指標を記載する際には、指標番号として「指標Ⅰ」、「指標Ⅱ」・・・とローマ数字を付すこと。

◆「事業終了までのアウトカム（2021（R3）年度-2022（R4）年度）」欄について

1. 構想（研究力強化の方針・戦略など）を実現するために、事業終了まで（2021年度～2022年度）に達成すべき定量的又は定性的成果目標及び具体的な評価指標（成果目標に対して1つ以上）を記載すること。なお、指標を記載する際には、指標番号として「指標（1）」、「指標（2）」・・・と番号を付すこと。
2. 「成果目標」欄のうち左側には、目標達成年度（2021 又は 2022）を記載すること。また、右側の成果目標値が単年度によるものではなく特殊な場合（例：直近3カ年（2019-2022）の平均値など）には、目標値の後ろに括弧書きでその旨記載すること。
3. 「指標設定年度」欄のうち左側には、当該指標を設定した時点の年度を西暦で記載し、右側には、設定時点における実績を記載すること。また、実績が単年度によるものではなく特殊な場合（例：直近3カ年（2018-2020）の平均値など）には、実績の後ろに括弧書きでその旨記載すること。なお、定性的な指標の場合で、かつ、実績が存在しない場合には、「－」を記載すること。
4. 「2017 年度実績」～「2020 年度実績」欄には、当該指標の各年度末時点における実績を記載すること。また、実績が単年度によるものではなく特殊な場合（例：直近3カ年（2018-2020）の平均値など）には、実績の後ろに括弧書きでその旨記載すること。
5. 「指標設定理由」欄には、当該指標を設定した理由について、アウトプットとアウトカムの関係性を含めて簡潔に記載すること。

6. 各指標のうち、「本事業による取組の効果」(他の事業等による影響を受けない)が検証可能である指標については、青色を付けること。「本事業による取組の効果が検証可能である」とは、下記の例のような比較・検証が可能であるものを指す。

(検証可能であると考えられる指標の例)

◆ 科研費採択率

科研費の応募について、URA が関わった場合と関わっていない場合とで、採択率等に差があるかどうかを検証可能である。

◆ 国際共著論文数

国際共同研究の支援について、URA が関わった場合と関わっていない場合とで、国際共著論文数等の成果に差があるかどうかを検証可能である。

◆「中間的なアウトカム(2019(R1)年度-2020(R2)年度)」欄について

1. 構想(研究力強化の方針・戦略など)を実現するために、2020年度まで(2019年度～2020年度)に達成すべき定量的又は定性的成果目標及び具体的な評価指標(成果目標に対して1つ以上)を記載すること。なお、指標を記載する際には、指標番号として「指標①」、「指標②」…と番号を付すこと。
2. 指標の各欄の記載については、「事業終了までのアウトカム(2021-2022)」欄について」の2.以降を参照すること。

◆「アウトプット」欄について

1. 各年度の取組内容について、事業計画書を基に可能な限り具体的(インプットされているマンパワーが行っている業務がわかるよう)に記載すること。なお、経年変化がわかるよう、前年度の取組を発展させた繋がりのある取組である場合には、ピンク色を付けるとともに、実施していない(しない)取組については、斜線を引くこと。なお平成30年度から令和2年度の取組について、各年度継続的に実施している取組は一つにまとめて記載すること。
※過去「アウトプット」欄においてピンク色を付した箇所は、色を変えないこと。(経年で資料を比較しやすくするため)なお平成30年度から令和2年度の取組については期間中に発展等があったとしても色を付さないこと。
2. 各取組が「中間的なアウトカム」や「事業終了までのアウトカム」に、そして「事業終了までのアウトカム」から「将来構想」にどのように繋がっていくのかわかるように、線を記載すること。なお、アウトプットと結ぶものは「中間的なアウトカム」もしくは「事業終了までのアウトカム」とし、必ずしも「中間的なアウトカム」に繋がるものではない。

* 取組やアウトカムが強く影響するもの…黒い実線、副次的・二次的(最初から意図されていたわけではないが、派生によるなど)に影響するもの…灰色の点線で結ぶこと。

* 1つの取組やアウトカムが複数影響すると思われる場合であっても、特に影響を与えるものに絞り、記入は黒い実線及び灰色の点線それぞれ1本ずつとすること。